

「『実力行使 決議』に賛同します！」

「ハンセン病当事者の闘いを孤立させない、連帯する！」

メッセージ集

(新着順／2012.11.4 時点)

【賛同個人】

- ・これ以上の福祉の切り下げ・切り捨ては、棄民化政策に他ならないと怒りを覚えます。今の日本の現状は寂寥感に満ちています。共に闘う意思を寄せます。(NPO 法人かごしまホームレス生活者支えあう会理事長 堀之内洋一)
- ・「らい予防法の」真の廃止に向けて、共に歩み続けてまいります。(訓覇浩 ハンセン病市民学会)
- ・ハンセン病療養所のいのちの現状と課題を、多くのかたがたに周知させ、共に闘う仲間を増やせたらいいと切望致します。合掌。(小川真理子 岐阜市／浄土真宗本願寺派僧侶)
- ・会の趣旨に心から賛同し、最後まで共に闘いぬきます。(松下徳二 ハンセン病問題の全面解決を目指して共に歩む会)
- ・世界に類例の無い隔離政策の樹立と 100 年にわたるその遂行、そして今また、誤った国策を行おうとすることに言葉にならない憤りを感じます。(濱野信宏 ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山)
- ・11.5 ハンスト決議に賛同します。(渋谷行成 ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山)
- ・医療・福祉に関わるものとして、皆さんの勇気ある行動を心から支援します。(石川丈夫 ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山)
- ・決して 忘れてはならない ひとりの人間の人生を奪った 強制隔離を！(勝田登志子 ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山)
- ・「字も見えず、足もおぼつかないが、私は伝えなくてはならない」と、立ちあがった 94 歳の決意に応えたい(堀江節子 ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山)
- ・高齢のしげさん、正子さんがハンストするような事態を許すまじ。(藤野豊 ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山)
- ・お年寄りにハンストを決意させた厚労省に、喝っ！(八重樫信之 ハンセン病首都圏市民の会)

- ・回復者の強い決意に触れたことを、ハンセン病療養所と介護の問題を一人でも多くの人と共有する自身の歩みにつなげたいと思っています。(樋口曜 真宗大谷派／介護職)
- ・回復者の方々の決意を重く受け止めています。これ以上被害を生みたくない、生ませたくない。(北田有希 埼玉大学教養学部)
- ・鹿児島～東京間往復 3,000 km 毎月上京、その距離地球を 13.5 周。人権回復・人間回復の道、未だ道険し！「病み捨て」は絶対許さぬ！！(堅山勲 ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会〔全原協〕事務局長)
- ・11・5 集会に憤怒をもって賛同します。(NPO 法人ちくほう共学舎「虫の家」〔杉野ハンセン病資料室〕事務局長・高石伸人 他世話人一同)
- ・入所者の安心安全療養の生涯保障は、国の当然の償いだ。(富岡由起子 北海道)
- ・生命の尊厳を保障する適切な人員配置を！ 11・5 集会の成功を祈る。(富岡達彦 北海道)
- ・人間らしく生きる権利を！ 11・5 市民集会に北の大地から賛同します！(井上昌和 & 浅川身奈栄 ハンセン病回復者と北海道をむすぶ会)
- ・熊本判決文にあった「人生被害」の文言を忘れないでいたい。(井上憲司 東京都中野区在住)
- ・回復者の人たちとともに生きたいと願っています。だから集会に賛同し参加します。(中杉隆法 真宗大谷派)
- ・ハンセン病患者・回復者及びその家族に対する差別撤廃のための原則及びガイドラインの作成に率先した日本政府の行動を、国際社会は見つめている！(木村光豪 自由が丘産能短期大学兼任教員)
- ・人権尊重、反差別と啓発、国は責任を履行せよ！(北口学 大阪芸術大学教員)
- ・「最後の一人まで」人間としての尊厳を大切にできる社会を。(布田秀治 日本キリスト教団牧師)
- ・ハンスト決意に賛同し連帯したいと思います。(加藤久晴 真宗大谷派僧侶)
- ・ハンセン病問題を解決済みとみなしてしまいがちなわれわれへの自戒を込め、命がけで闘わざるを得ない状況に追い込んでいる政府に、具体的な形で反省を示すことを要求します。(笹沼弘志 静岡大学教授〔憲法専攻〕／野宿者のための静岡パトロール事務局長)
- ・「この動きを注視し、ハンセン病当事者の闘いを孤立させない、連帯する！」という思いに賛同します。(蓑輪秀一 真宗大谷派)
- ・入所者の皆さんが生きていてよかったと思えるような療養所を保障することが国の務め。(貞松康夫 菊池恵楓園元職員／「ハンセン病問題を共に考えるネットワーク・さが」)
- ・これ以上の国の裏切りは許されない。約束を守れ！(奥田均 近畿大学)
- ・「コンクリートから人へ」のスローガンはどこへ、80 才を越えた方々がハンストを決意せざるを得ない状況を知り、国・厚労省は恥ずかしいとは思いませんか。(西浦昭英)

- ・国は速やかにハンセン病基本法の理念に立ち戻り、実行せよ！最後の命がけの闘いに賛同・参加します。(川邊嘉光 ハンセン病首都圏市民の会／退所者／天理教布教師)
- ・無関心、傍観者でいることを良しとしたくありません。集会に参加します。(前田義朗 真宗僧侶)
- ・何故今も療養所で暮らしている人達がいるのか。何故療養所での暮らしも安心して送れないのか。彼らの命を削らせてはならない。(谷岡美穂 ソーシャルワーカー)
- ・私は忘れない わが子操の命を返せ(志村康 全療協菊池支部)
- ・強欲な！ふる里に親・子・兄弟姉妹・命もか！！(瓜谷修治 ハンセン病回復者とともに歩む関西連絡会)
- ・慚愧の思いでこの集会に参加したいと思います。(朝比奈高昭 真宗大谷派)
- ・ハンセン病回復者の「いのち」と「暮らし」が疎かにされる社会では、誰も安心して生きることはできない。(中村 順)
- ・被差別者の解放なくして差別者の解放もなし。今ハンセン病療養所の「いのち」と向き合う！に賛同します。(くじゅうのりこ)
- ・現場を見てください。(塩田恵)
- ・このことは私自身の生き方につながります。(市川正廣 ハンセン病首都圏市民の会)
- ・平均年齢 80 歳を越えるみなさんにいまハンストを決意させる国と社会の一員として恥ずかしい。(柴田隆行 東洋大学教員)
- ・回復者の方々の生の声は、自分をハンセン病に対する無知・無関心を救ってくれました。今度は自分がその声と市民の架け橋になる番。(鈴木慶太 早稲田大学・ハンセン病問題支援団体 Qiao)
- ・かれらの最大の、そして最後の闘いを、今こそ市民が「共に」闘い抜かなければならないと思います。(足立香織 埼玉大学)
- ・2001 年国賠訴訟を経たいま、わたしたちが本当に差別を克服できたのか、問われています。(黒坂愛衣 ハンセン病首都圏市民の会／東京外国語大学ほか非常勤講師)
- ・今回のハンストの動きに背を向けない生き方がしたい。(酒井義一 ハンセン病首都圏市民の会)
- ・賛同します。——本多倫子(真宗大谷派)／福岡安則(埼玉大学)／大屋徳夫(真宗大谷派)／山内小夜子(真宗大谷派僧侶)／一盛真(草津楽生園とみちのくの子どもを結ぶ会)／須賀力(ハンセン病首都圏市民の会)／廣岡浄進(大阪観光大学)

【賛同団体】

ハンセン病問題ネットワーク沖縄
日本カトリック部落差別人権委員会
IDEA ジャパン

＊「賛同表明」「賛同メッセージ」を募集しています！（個人／団体）

zonmyoji@jcom.home.ne.jp までお寄せください。「ハンセン病首都圏市民の会」ホームページに掲載します。
（匿名を希望される場合は、「匿名希望」と明記）

ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会

全国ハンセン病療養所入所者協議会

ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会

ハンセン病違憲国賠訴訟全国弁護団連絡会

全日本国立医療労働組合

ハンセン病市民学会

支援する市民の会